

令和7年度開南大学夏期中国語英語・台湾文化研修 報告書

総合管理学部総合管理学科 1年

今田 陽柊

8月17日～31日までの2週間、私は開南大学で短期研修を行いました。英語クラスでしたが、他県から来た大学生達と仲良くなり、最後にはドイツ人の先生と一緒に菓子パーティをするほどでした。授業は全て英語であり、先生の言っていることを理解することに苦労しました。しかし、1日3時間も英語を聞いていると、だんだん先生の言いたいことが分かるようになってきました。そして、先生は、文法については重要ではないと語っていました。そこで、私は文法を無視して伝えたいことをできるだけ伝えられるように英語を組み合わせて言うようにしました。発音が違うとたまたま通じていませんでしたが、通じた時は非常に嬉しかったです。



成果発表会では惜しくも4位で表彰はされませんでした。2週間英語クラスを頑張れてよかったです。個性的な人たちがたくさんいて、最後に皆で先生と写真を撮りました。

1日中自由時間があつた時は、友人と台北101に行って、お土産を買いまわりました。地下にはフードコートやお土産屋さんがあり、とても楽しかったです。お土産屋さんでは、日本語を少しだけ話してくださる店員さんがいらしゃったので、安心して買い物ができました。その時、おまけで一つ商品をいただきました。西門町に行ったとき、幸福堂で買ったタピオカには黒糖が入っていてとても美味しかったです。ざくざくとした食感がとてもクセになりました。



台湾の研修を通じて、私は中国語に興味を持ちました。英語が公用語ではありますが、中国語で話した方がすぐに通じるからです。大学の学生のチューターさんと話しましたが、私が中国語をほぼ知らないから、私と話す時はずっと日本語で話してくださいました。私も中国語を話せるようになって、台湾の人をもっと知りたくなったし、店、町の細かい仕組みや、伝えたいことをもっと聞き取れるようになりたくなりました。この研修



で、日本との文化の差を非常に感じましたが、根本的な感性は日本人と大差ないと感じました。ここでは、人、歴史、生活、色々なものを身近で感じることができました。初めての海外で、不安もたくさんありましたが、台湾人の友人ができて非常にいい経験になりました。今後は英語の他に、中国語も学びたいと思います。そして、また台湾に勉強しに行きたいです。